



配偶者の扶養の範囲内でお勤めのみなさまへ

～あなたの年金が変わる～
大切なお知らせ



Step

1

以下の勤め先が対象です。

現在

従業員数
501人以上
の勤め先

2022年10月～

従業員数
101人以上
の勤め先

2024年10月～

従業員数
51人以上
の勤め先

Step

2

以下の全てにチェックが入った方が対象です。

check 週の所定労働時間が
 20時間以上

check 月額賃金が
 8.8万円以上

check 2ヶ月以上の雇用の
 見込みがある

check 学生ではない



適用拡大
特設サイト

<https://www.mhlw.go.jp/tekiyoukakudai/index.html>

説明動画はこちら



ご自身の年金額を調べたい方は
ねんきんネット

https://www.nenkin.go.jp/n_net/index.html





配偶者の扶養の範囲内で
お勤めのみなさまにお知らせ。

あなたの年金・医療保険が
変わります。

Point
1

年金の3つの 保障が充実!

これまで → これから

給付が
上乘せ

厚生年金も受け取れます。

老齢 厚生年金	障害 厚生年金	遺族 厚生年金
+	+	+
老齢 基礎年金	障害 基礎年金	遺族 基礎年金

年金が“2階建て”になり保障がワイドになります!

年を取ったら受け取る

老齢
年金



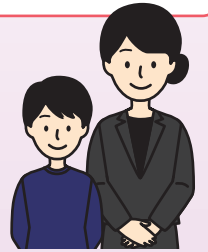
障害と認定されたら受け取る

障害
年金



働き手が亡くなったら受け取る

遺族
年金



Point
2

医療保険がさらに充実!

傷病手当金

病休期間中、
給与の2/3相当を支給



出産手当金

産休期間中、
給与の2/3相当を支給



扶養基準(130万円)を意識せず働けるようになります。

これまで、被扶養配偶者の年収が130万円を超えると、保険料負担(国民年金・国民健康保険)が新たに発生するものの、保障内容に変化はありませんでした。これからは、年収106万円(月額8.8万円)を超える等の各種要件を満たした場合に、厚生年金保険(厚年)・健康保険(健保)に加入し保険料負担(厚年・健保)(労使折半)が新たに発生するものの、その分保障も充実します。

これまで → これから

●保険料のご負担



●年金支給

国民年金のみに加入しているため年金は増額されません。

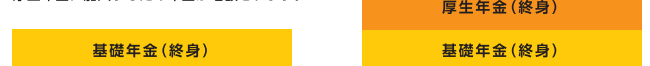


●保険料のご負担



●年金支給

厚生年金に加入するため年金が増額されます。



※金額は一例であり、年収130万円の例です。

※金額は一例であり、年収106万円(月額8.8万円)の例です。